

# 安全衛生基本理念

「人命尊重」は安全衛生活動の基本である。安全意識の高揚と活性化を図り、快適な職場環境を形成することで「労働災害と設備事故」の撲滅を旨とします。併せて「基本に忠実」を実践し、お客様のベストパートナーとして信頼に応えます。

## 2019年度 安全衛生方針・目標

### ■安全衛生方針

『安全は人が育てる』を基本とし危険要因の根絶を旨とし全員が参加する安全文化を創出し、事故を撲滅します。

### ■安全衛生目標

ICT活用・安全教育の強化、協力会社との連携強化を推進し、より安全により良い品質を目標に全社一丸となり、安全意識の改革、「相互啓発型」の安全文化を目指す。働き方改革により、ワークライフバランスを実現し社員・作業員の健康増進を図る

### ◎重点取組事項

1. ICT活用・働き方改革
2. 安全品質管理の強化
3. 羽田安全研修センターの活用
4. 重大事故撲滅の徹底

# 2019年度 東海支店安全衛生計画

## スローガン

事故撲滅 ルールと手順を守って安全作業

## 重点取組事項

ICT活用-安全教育の強化、協力会社との連携強化を推進し、より安全により良い品質を目標に全社一丸となり、安全意識の改革、「相互啓発型」の安全文化を目指す。働き方改革により、ワークライフバランスを実現し社員・作業員の健康増進を図る

1. ICT活用・働き方改革
  - グリーンサイトの運用強化により、現場・協力会社の安全書類作成業務低減
  - 安全衛生協会ポータルサイトの運用強化
  - キャリアアップシステムへ協力会社登録推進
  - 社員・作業員の一般健康診断受診率100%、有給休暇取得義務化の推進
  - ZOOM・Webカメラ等による見守りサポートの試行
2. 安全品質管理の強化
  - 着工時・危険工程に合わせたリニューアル工事 安全パトロールの実施
  - 安全パトロール要員・社内検査要員の目線合わせ継続実施
  - NTTグループ建築等工事安全品質ガイドラインの推進
3. 羽田安全研修センター活用及び研修強化
  - 東海支店支店現場代理人及び協力会社作業員の体験型研修参加
  - VR事故体験研修の継続実施
  - フルハーネス型安全帯の特別教育実施
  - NACSとの連携による、現場代理人・職長への安全教育の強化
4. 重大事故撲滅の徹底
  - 安全パトロール強化、現場緊張感の醸成
  - 業者訪問教育の継続実施
  - 現場代理人に対して安全意識の向上を目的とした安全教育強化 指差し呼称の励行

安全トレーニングの日 10日  
点検の日 16日

# 平成30年度安全衛生活動結果

施策項目	具体的計画内容	実施結果
1. ICT技術の活用強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 新日比谷安全管理システムの試行・運用</li> <li>■ iPad等を活用した安全パトロール・社内検査の確立</li> <li>■ ICカードを使用した、キャリアアップシステムの導入</li> <li>■ ZOOM・Webカメラによる遠隔パトロールの試行</li> </ul>	H30.11月運用開始、システム活用社員が現状少ない状況である。 安全パトロール、ASB処理立会、社内検査について、iPad活用は標準化した。 CCUSについては、本社事業者登録の申請まで確認したが、登録完了に至っていない Webカメラについては、固定撮影の場合環境が厳しい。ZOOMでの点検を強化する。
2. 働き方改革	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 社員・作業員の一般健康診断受診率100%</li> <li>■ 現場の連休2日に向けてステップアップ</li> <li>■ グリーンサイトの運用強化により、現場・協力会社の安全書類作成業務低減</li> <li>■ 夏期熱中症対策 空調服導入による作業環境改善試行確認</li> </ul>	健康診断受診率はほぼ100%であった。今後は人間ドックの推進を図る 建設業的に4週6休を推進、RN工事の平日休日設定 グリーンサイトへの登録は、ほぼ80%登録している。来期CCUSと合わせて推進 空調服については、定着が見受けられる。熱中症予防にもさらに推進を図る。
3. 安全品質管理の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 安全パトロール要員の目線合わせ実施</li> <li>■ 社内検査要員の目線合わせ実施</li> <li>■ NACSとの連携による、現場代理人・職長への安全教育の強化</li> </ul>	安全パトロールは、特別点検表をES部に説明しLi-reporterを活用した。目線合わせは社員と声掛けをした 社内検査目線合わせは、2回実施し、新規社内検査員への指導を行った。1名参加未済あり NACS東海支店の運営を推進。安全大会、安全研修会を開催。毎月の合同パトロールを実施
4. 羽田安全研修センターの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 東海支店支店現場代理人及び協力会社作業員の体験型研修参加</li> <li>■ 新メニューVR事故体験研修の実施</li> </ul>	羽田研修センターへの研修参加を募ったが、研修時期と現場多忙時が重なり参加が少ない 安全集会所、VR事故体験研修を実施、講評であったが未実施作業員までには実施できていない
5. 重大事故撲滅の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 安全パトロール強化、現場緊張感の醸成</li> <li>■ 業者訪問教育の継続実施により末端作業員への意識改革実施</li> <li>■ 現場代理人に対して安全意識の向上を目的とした安全教育強化</li> </ul>	冷媒管切断作業ASB処理作業初日立会を実施 現場担当者に危険工程対策強化とした 業者訪問教育を15社に行い、最近の事故事例及び現場安全品質向上を末端作業員へ指導した。 毎月の安全協議会、安全集会所等で事故事例、品質事例を説明し安全管理強化に繋がった。
<b>総括</b> 平成30年度は、危険工程（搬入出・切断作業・ASB処理等）初日立会を実施し事故発生抑制を行った。社内検査の目線合わせを行い、工事評価表の意識合わせを行った。iPad活用が浸透してきているように思われる。O報発信は17件（内1件事故、1件社内カード紛失、瑕疵7件、事象8件）で、無事故とはならなかった。瑕疵については試運転不足等が目立った。事象については検討不足・基本ルールの不備が考えられる。情報を共有し同種の瑕疵・クレームを撲滅していく。協力会社に対して、継続訪問指導を17社に行い、末端作業員に直接周知を行った。VR事故体験研修も安全集会所に行い講評であった。優良施策として継続する。さらに社内・協力会社・現場とのコミュニケーションを図り事故撲滅・安全・品質管理・働き方改革推進を目指す。2019.2施行 法令改定に伴いフルハーネス型安全帯特別教育も新規実施していく。		

## 2019年度取組施策

施策項目	具体的実施計画内容	計画部門
1. ICT活用・働き方改革	■ グリーンサイトの運用強化により、現場・協力会社の安全書類作成業務低減 ・運用現場の拡大と協力会社の加入促進を行う	安全品質管理部 ES部
	■ 安全衛生協会ポータルサイトの運用強化 ・ポータルサイトを使用して全店の協力会社との安全・品質の情報共有を行う	
	■ キャリアアップシステムへ協力会社登録推進 ・キャリアアップシステム登録後、協力業者の事業者登録・技能者登録の促進	
	■ ZOOM・Webカメラ等による見守りサポートの試行 ・危険工程現場立会強化及びWeb.ZOOMカメラによる遠隔見守りサポートの試行	
	■ 社員・作業員の一般健康診断受診率100%、有給休暇取得義務化の推進 ・社員・協力会社作業員の健康診断受診 100% ・有給休暇取得義務化へ推進	
2. 安全品質管理の強化	■ 着工時・危険工程に合わせたリニューアル工事 安全パトロールの実施 ・着工時の危険予知と危険工程に合わせた安全パトロールを実施し、事故防止を図る	安全品質管理部 ES部
	■ 安全パトロール要員・社内検査要員の目線合わせ継続実施 ・安全パトロールの重点事項を共有する目線合わせを行う。 ・安全パトロール時にタイムリーな品質指示を1項目以上行う ・他店所と連携し、社内検査項目、評価表について目線合わせを行う	
	■ NTTグループ建築等工事安全品質ガイドラインの推進 ・NTT建築等工事ガイドラインの実施確認及び運用指導	
	■ 東海支店現場代理人及び協力会社作業員の体験型研修参加 ・講習会調整による、受講者拡大、安全教育の強化	
3. 羽田安全研修センターの活用	■ VR事故体験研修の継続実施 ・VR体験研修の継続開催・体験研修者増大	安全品質管理部 ES部
	■ フルハーネス型安全帯の特別教育実施（社員・協力会社社員） ・法令改定に伴う特別研修実施による受講促進	
	■ NACSとの連携による、現場代理人・職長への安全教育の強化 ・NACS安全安全研修会の実施と参加推進 ・安全パトロールによる他業者技術の取込	
	■ 安全パトロール強化、現場緊張感の醸成 ・週間工程よりの危険工程洗い出し・初日への立会徹底	
4. 重大事故撲滅の徹底	■ 業者訪問教育の継続実施 ・業者訪問教育の継続実施により末端作業員への意識改革実施	安全品質管理部 ES部
	■ 現場代理人に対して安全意識の向上を目的とした安全教育強化 ・現場代理人の当事者研修、eラーニング O報訓練継続実施	

## 2019年度安全衛生計画表

実施部門	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
安全品質管理部 工事部門		グリーンサイト加入推進					グリーンサイト登録確認				グリーンサイト登録確認	
安全品質管理部 工事部門		ポータル運用推進			運用説明会			運用説明会		ポータル活用促進		
安全品質管理部 総務部		当事業者登録確認・周知					支店技術者登録推進・協力会社加入周知					システム加入確認
安全品質管理部 総務部			危険工程（搬入出・切断作業・ASB処理立会）継続				本店試行現場確認	運用方法の決定・説明				試行現場設定
安全品質管理部 工事部門				危険工程立会、安全週間、衛生週間、年末年始、年度末特別パトロール実施								
安全品質管理部 工事部門				本支店目線合わせ研修			安全パトロール 経過打ち合わせ					
安全品質管理部 工事部門		i-Reporterデータ修正		目線合わせ	i-Reporterデータ運用			本支店目線合わせ研修	i-Reporterデータ運用	運用状況確認		工事評価表集計
安全品質管理部 工事部門		ガイドライン作成周知		四半期ごとに確認・収集実施								
安全品質管理部 工事部門				羽田研修センター研修参加実施						羽田研修センター研修参加実施		
安全品質管理部 工事部門		VR体験型研修計画			VR体験型研修実施				VR体験型研修実施			
安全品質管理部 工事部門		フルハーネス型安全帯特別教育1回/月						フルハーネス型安全帯特別教育1回/月				フルハーネス型安全帯特別教育1回/月
安全品質管理部 工事部門		NACS安全パトロール1回/月		研修実施、参加推進			NACS安全パトロール1回/月					NACS安全パトロール1回/月
安全品質管理部 工事部門			安全・品質・特別パトロールの実施（月1回及び強化期間）				月1 現場以上の防災協へ参加					
安全品質管理部 工事部門		業者訪問指導予定・計画		計画完了	月2業者以上の訪問指導		報告	月2業者以上の訪問指導		月2業者以上の訪問指導		報告
安全品質管理部 工事部門		eラーニング実施（アズベスト）			eラーニング実施（NACS）			eラーニング実施 誤切断防止				
安全品質管理部 工事部門		n報訓練			n報訓練			n報訓練				n報訓練

### 年間行事

- |                                     |   |
|-------------------------------------|---|
| 1) 全国交通安全運動 5/11~20、9/21~30         | 5) 全国労働衛生週間(※ 29-の配布) 10/1~10/7(9月準備期間) |
| 2) 安全衛生大会 6/12日                     | 6) 火災予防運動 11/9~15、3/1~7                 |
| 3) 全国安全週間(※ 29-の配布) 7/1~7/7(6月準備期間) | 7) 年末年始災害防止強調期間(※ 29-の配布) 12/1~1/15     |
| 4) 電気使用安全月間 8/1~31                  | 8) 年度末労働災害防止強調月間(※ 29-の配布) 3/1~3/31     |

### 月間目標

- |                     |                  |                         |
|---------------------|------------------|-------------------------|
| 4月 墜落災害防止           | 8月 感電災害防止        | 12月 歳末無事故・無災害、ケーブル誤切断防止 |
| 5月 交通災害防止           | 9月 建設機械・電動工具災害防止 | 1月 年頭無事故・無災害            |
| 6月 5S運動・漏水事故防止      | 10月 健康管理         | 2月 危険工程の抽出と作業手順書作成      |
| 7月 埋設物・火災事故防止・熱中症予防 | 11月 火災予防         | 3月 年度末労働災害防止            |